

RV215WのVPNパススルー設定

目的

VPNパススルーは、インターネット上で2つのセキュアなネットワークを接続する方法です。ネットワークでVPNパススルーが有効になっている場合、VPNクライアントから開始されたVPNトラフィックがインターネットにパススルーされ、VPN接続が成功します。

VPNパススルーは、通常、ポイントツーポイントトンネリングプロトコル(PPTP)とIPSecパススルーの組み合わせです。VPNパススルーが必要な理由は、最近使用したすべてのルータがネットワークアドレス変換(NAT)で構成され、複数のコンピュータが同じインターネット接続を共有できるようにし、PPTPとIPSecの両方がNATで動作しないためです。ルータでPPTP、L2TP、およびIPSecを許可するには、VPNパススルーの概念を使用します。

注：VPNパススルーを有効にするためにポートを開く必要はありません。ポートは自動的に動作します。VPNパススルーを構成する前に、ホストとリモート側で基本的なVPNセットアップを行う必要があります。VPNを設定するには、「RV215Wでの基本的なVPNセットアップ」を参照してください。

この記事では、RV215WでVPNパススルーを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

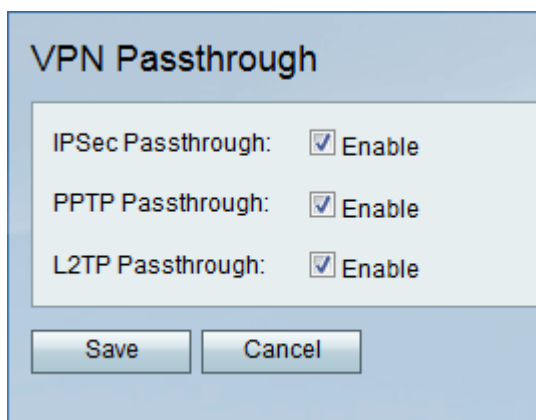
- ・ RV215W

[Software Version]

- ・ v1.1.0.5

VPN パススルー

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインし、[VPN] > [VPN Passthrough]を選択します。[VPN Passthrough]ページが開きます。



ステップ2：目的のチェックボックスをオンにして、VPNパススルーを許可します。使用可能なオプションは次のとおりです。

- ・ IPSecパススルー：NAT-Tを使用します。NAT-Tは、IPSecパケットをNATと連携するUDPパケットに結合します。

- ・ PPTPパサスルー：GRE (NATでは動作しません) をNATで動作する拡張GREに置き換えることで、ルータで使用されます。

- ・ L2TPパサスルー：NATと連携するUDPパケットにIPSecパケットを結合するNAT-Tを使用します。レイヤ2トンネリングプロトコル(L2TP)は、インターネット経由でレイヤ2レベルのポイントツーポイントセッションを有効にする方法です。

ステップ3: (オプション) いずれかのVPNパサスルーを無効にする必要がある場合は、適切なチェックボックスをオフにします。

ステップ4:[Save]をクリックします。